

# PRESS RELEASE

## 令和4年度全国学力・学習状況調査の結果概要

### 1 教科に関する調査結果

(1) 小学校6年生の平均正答率（文部科学省公表値）

- 国語、算数、理科ともに全国平均と同程度

	国語 (%)	算数 (%)	理科 (%)
<b>福岡市(市立)</b>	<b>65</b>	<b>64</b>	<b>63</b>
全 国 (公立)	65.6	63.2	63.3

(2) 中学校3年生の平均正答率（文部科学省公表値）

- 国語は全国平均を上回る
- 数学、理科ともに全国平均と同程度

	国語 (%)	数学 (%)	理科 (%)
<b>福岡市(市立)</b>	<b>70</b>	<b>51</b>	<b>50</b>
全 国 (公立)	69.0	51.4	49.3

(3) 福岡市の正答率の高い問題・低い問題（本年度の正答率に見られる顕著な状況）

#### 【小学校】

		設問の概要	福岡市 (%)	全国 (%)
正答率の高い問題	国語	必要なことを質問し、話し手が伝えたいことや自分が聞きたいことを中心に捉える	85.7	84.7
		話し言葉と書き言葉との違いを理解する	85.2	85.5
	算数	被乗数に空位のある整数の乗法の計算をすることができる	92.7	92.4
		図形を構成する要素に着目して、長方形の意味や性質、構成の仕方について理解している	83.6	83.2
	理科	問題を解決するために必要な観察の視点を基に、問題を解決するまでの道筋を構想し、自分の考えをもつことができる	93.4	92.9
		観察で得た結果を、問題の視点で分析して、解釈し、自分の考えをもつことができる	82.4	82.3

(%)

		設問の概要	福岡市	全国
正答率の低い問題	国語	互いの立場や意図を明確にしながらか計画的に話し合い、自分の考えをまとめる	47.8	47.7
		文章に対する感想や意見を伝え合い、自分の文章のよいところを見付ける	35.4	37.7
	算数	示された場面において、目的に合った数の処理の仕方を考察できる	35.2	34.8
		示された場面のように、数量が変わっても割合は変わらないことを理解している	21.9	21.4
	理科	実験で得た結果を、問題の視点で分析して、解釈し、自分の考えをもち、その内容を記述できる	31.7	35.1
		日光は直進することを理解している	26.7	27.8

## 【中学校】

(%)

		設問の概要	福岡市	全国
正答率の高い問題	国語	漢字の行書の読みやすい書き方について理解する	90.0	90.1
		文脈に即して漢字を正しく書く	86.8	82.1
	数学	多数の観察や多数回の試行によって得られる確率の意味を理解している	82.0	83.3
		問題場面における考察の対象を明確に捉えることができる	74.8	73.8
	理科	化学変化に関する知識及び技能を活用して、水素の燃焼を分子のモデルで表した図を基に化学反応式で表すことができる	81.2	80.1
		モデルを使った実験において、変える条件と変えない条件を制御した実験を計画できる	79.5	78.5
正答率の低い問題	国語	自分の考えが伝わる文章になるように、根拠を明確にして書く	48.7	46.5
		行書の特徴を理解する	40.0	39.4
	数学	一次関数の変化の割合の意味を理解している	36.3	37.9
		筋道を立てて考え、事柄が成り立つ理由を説明することができる	11.8	12.5
	理科	化学変化に関する知識及び技能と「エネルギー」を柱とする領域の知識及び技能を関連付け、水素を燃料として使うしくみの例の全体を働かせるおおもとして必要なものを分析して解釈できる	27.5	24.8
		力の働きに関する知識及び技能を活用して、物体に働く重力とつり合う力を矢印で表し、その力を説明できる	19.3	15.3

## 2 福岡市の調査実施校数及び児童生徒数

- 小学校 144校、特別支援学校1校 第6学年児童 約12,500人
- 中学校 68校、特別支援学校2校 第3学年生徒 約11,300人



福岡スタンダード～福岡の子どもたちに大切にしてほしいこと～

生活習慣の柱

学びの柱

未来への柱

あいさつ・掃除

自学・とも学

チャレンジ・立志

〈問合せ先〉

○教育委員会指導部学校企画課

課長 石橋 剛克 (いしばし たけかつ)

電話 092-711-4638 (内線 3711)